

時間を守るのなぜ？ ～社会に出る事前研修～

遅刻者の数は、朝清掃を行う前と比較すると減少した。グッと減ったのではなく、ある程度減った状態で頭打ちである。遅刻者もおなじみの顔ぶれになっている。朝礼に遅刻することもさることながら、朝掃除の時間に悠々と歩いてきて、掃除をせずにぶらぶらしているというのは頭をかしげる。

学校で遅刻にうるさく言うのは、社会に出る直前研修の場として3年間を考えているからである。社会に出たときには「遅刻をしない」、「無断欠勤をしない」のは当たり前なこととして身につけているようになって欲しいからである。中学校時代も含めて、学生時代の習慣が、1週間やそこで直せるだろうか？自分の性格とよく相談してみるとよいだろう。長年染みついた習慣(特に中学校、高校で身についた習慣)は、直すためにはその何倍もの時間がかかる。

大人が口うるさいのは、経験をもとに言っていること。無駄な気遣い、無駄な時間を過ごさないですむように、今からでも「遅刻」をなくそう！

大成功・大成長の農業祭

11月9・10日に本校最大のイベントの農業祭がおこなわれました。両日とも天候に恵まれ多くの地域の方々に来校していただき大成功のうちに終えるこ



レベルアップを実感！
～催し物大好評～

学校だより 月報

11月号
農業祭特集
出雲農林高校
PTA

～紅白もちの地域配布～
各クラスの学芸委員、生徒会・農業クラブ・家庭クラブ役員、太鼓部員の総勢約60名で学校周辺の下横町・東園町内約320軒に案内状を配布し

とが出来ました。17種類の展示や、20種類の催し物、本校の生産物販売と多くの催しがおこなわれました。その催し物も昨年よりもレベルが上がっており、充実した内容となっていました。この理由は、本校が文部科学省からめざせスベヤリストの認定校となり3年間取り組んできた「起業実践」や各授業委員会・部活動の活動が生徒の能力を伸ばし、企画・運営力を向上させ、生徒が主体的に参加していたからでしょう。
地域の方とふれ合い求め

図書委員会のしおり作りの様子(下)



毎年好評の食品科学科の「おもしろい実験室」(上)

好評だった展示内容、面白く！これが今年の農業祭展示を見ての感想でした。委員会・部活動・家族・農く・各学科の展示はどれも見る人を驚かせたり、楽しませる内容でありました。毎年大好評の食品科学科の「おもしろい科学実験場」(恋愛、性格)、「心理テスト」(恋愛、性格)、「図書委員会のしおりを作ろう！」。環境科学科の「室内環境庭園」など見ているだけでも楽しめ、更に体験できる展示内容の多さが好評につながったと思います。

この案内状を農業祭当日に持参していただき、総合受付において紅白餅をプレゼントしました。この紅白餅は、植物科学科の実習で栽培収穫されたもち米を用いて作られました。
来て見て触れて楽しんで

生徒の感想からは、とても苦労して製造した商品を大勢の方が待つておられて嬉しかった。「自分が栽培した生産物がたくさん売れ、今までやっていて

生徒の感想からは、とても苦労して製造した商品を大勢の方が待つておられて嬉しかった。「自分が栽培した生産物がたくさん売れ、今までやっていて



毎年好評のプレスハムなをの生を

流した汗は裏切らない
「生産物に長蛇の列、すこいお客さんの数！」
初めて農業祭を体験した1年生から出た感想です。本校の目玉商品のプレスハム



環境科学科の「室内環境庭園」

作業服での演奏会、 農林らしさを演出

吹奏楽部による中庭コンサートでは耕魂精神を前面に出した作業服で演奏をおこないました。生徒や地域の方々など多くの聴衆が訪れ、温かい拍手を送っていました。



吹奏楽部による「中庭コンサート」

学校を創る人たち

学校長 佐野 明

本校が平成十年に5学科から4学科の体制になって、十年が経過をしようとしています。この間、多くの人が今の出雲農林高校を創る努力をしてきました。このことを大雑把に振り返ると、手始めの仕事は、県の教育委員会によるものです。植物・微生物バイオ実習棟、動物バイオ実習棟、大型ぶどうハウス等がつけられました。よい仕事でした。
次が、本校の先生方の仕事です。教育課程・シラバス・農場要覧等の整備とチャレンジショップ・国内起業研修旅行・緑化活動・援農隊等の学習内容を実施しました。よい仕事でした。

さて、その次が生徒の出番です。学習活動は、実験・実習に積極的に取り組み、プロジェクト活動の校内発表会が以前の県大会のレベルになるなど充実しました。生徒活動は、体育祭や農業祭に意欲的に取り組み、発表内容や運営のレベルが上がりました。生徒全体が楽しめるものになりました。学校生活は、遅刻・欠席は減少し、退学・問題行動は激減しました。総じて、よい活動でした。

生徒の出番はまだあります。部活動・農く活動、服装、出席、人間関係においては一層の精進を期待します。

わくわくポニー乗馬

動物科学科のポニー乗馬が子ども達に大人気でした。目を輝かせてポニーに乗っている子どもたちの笑顔が印象的でした。



子どもたちに大人気だった動物科学科の「ポニー乗馬」

農業祭を終えて

植物科学科1年 保護者 秦 美由紀

私は、本校の卒業生でありながら、新聞やテレビのニュースで農業祭の様子を見て、懐かしく思うことがあっても、卒業してから一度も足を運ぶ事がありませんでした。今年は、評議員として二十一年ぶりの農業祭に参加することが出来ました。天候にも恵まれ、農産物や加工品を求める人の多さに改めて、地域に根付いた農業祭の素晴らしさを実感しました。PTAでのうどんそばの販売もあり、花のハスや食の展示場周辺でしか生徒の様子を見ることが出来ませんでしたが、いつもとは違う生き生きとした表情を見ることが出来ました。

即売や出店などで経験したことは、将来の自分探しに、きっと役立つことでしょう。今年は出番も少なかった一年生が来年は、どんな活躍をするのか、来年の農業祭が今から楽しみです。

12月の行事予定

日	曜	項	目
1	土		
2	日		
3	月	期末考査	
4	火	期末考査、避難訓練	
5	水		
6	木	スポーツ大会	
7	金	スポーツ大会 SC 来校	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	CS	
16	日		
17	月		
18	火	面談週間	
19	水	CS	
20	木		
21	金	終業式	
22	土	CS	
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		大晦日

冬休み 12/22～1/7
(始業式は1月8日)

ウズベキスタン研修報告 交流も3年目に

本校から生徒4名参加

今年で3年目となるウズベキスタンとの交流に本校から4名の生徒が参加しました。期間は11月14日～22日までの8日間。初めての海外で様々な経験をして戻ってきたようです。



ヒヴァ農業カレッジの先生方と
(昔の王様の家の前で)

ウズベキスタンという国

動物科学科1年 石飛なびき
私がウズベキスタンに行って一番思い出に残っているのは、食べるものや住む場所の文化の違いでした。ウズベキスタンの主食はナンといわれるパンのようなもので、地域によって味や形も違います。お米が主食だった私たちには、三食全てナンというのはとても新鮮でした。食べ物の味付けも、日本より濃く、油が多かったですが、とてもおいしかったことを覚えています。

住に関して、ウズベキスタンは家の構造も面白かったです。「ヒワ」といって地域の家は、土壁でできた四角い家で外から見ただけではとても簡単に見えました。しかし、一度中に入ると、同じ家とは思えないくらい豪華な装飾が施されており、とても驚きました。また、一家に一つはナンを焼く石釜があることにも驚きました。この旅行で私はたくさんのことを学びました。これからはこの知識を無駄にせず、たくさんの人に教えて国際理解を広げていきたいです。



ウズベキスタンのスタッフと記念写真！

産業フェアに参加

11月23日に全国産業教育フェアに本校から植物科学科3年の泉川沙姫さんと同科2年の松本悠佳さんの2名が参加してきました。

泉川さんは、フラワーアレンジメントコンテストに島根県代表として参加しました。松本さんは、学校紹介のパネル展示で参加しました。



学校紹介のパネルで記念撮影
(沖縄県コンベンションセンターの展示コーナーにて)

いつかの私を支える日

植物科学科3年 泉川 沙姫

8月に産業フェア沖縄大会に参加することが決まってから、ずっとこの日を楽しみにしてきました。同じ花材、同じ花器を使ってもまったく違うものが出来る、そんな当たり前なことがとても不思議で、すごくワクワクしました。この花はこんな使い方もあるんだ！とか、葉ものはこいついつうに使うとコトラストがきれいだ！とか、一つ見つけるたびに嬉しくなってきた。皆さんの発見を持って帰ることができました。毎週火曜に遅くまで練習して、投げ出した時もあつたし、今回大会で作った作品も後々思えば：：：ということがたくさんあります。しかし、たくさんの方を見て、楽しかったと確かに思えます。



フラワーアレンジメントに取り組む泉川さん

編集後記

今年の天候はまったく読めませんでした。つい先日まで半袖で過ごしていたのに次の日には上着を着ないと寒くて耐えられない。その上、雪までもがちらつた。今年は秋がなかったと耳にするがまさに秋は猛スピードで終わった。秋がないために本校の草花や野菜で栽培計画がずれてしまった。やはり植物には秋が必要なのだろう。

本校は農業高校であるから季節を感じることは非常に重要であり、季節ごとに様々な作業がある。まさに「飽きの来ない学校」である真